

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	001004	部名	農林商工部	課名	農林管理課	
計画事業事業名	美しい農村再生支援事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	美しい農村再生支援事業						(820257)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	農林業費	項	農業費	目	農地費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○国の補助金活用事業だが、補助金を使うだけの事業になっているように見える。</p> <p>○移住者目標(定住 100人/24戸)は現実的な数字ではないのではないか。</p> <p>○特産品の商品化による販売目標、具体的販路、交流人口の目標に具体性がない。</p> <p>○計画策定に係る委託は、将来の地域の受益に見合った水準と言えるのか疑問である。</p> <p>○「補助金があるからやっている」という中身が少なくないのではないか。</p> <p>○気づきの道具としての「ワークショップ」は有効な場合があるが、それ自体で課題解決が図れるわけではない。</p> <p>→どれだけ有効な計画となっているか疑問であり、今日の説明ではまったくわからなかった。</p> <p>○少なくとも、①イベントの参加者数とその属性分析、②特産品の販売計画とその状況、③交流人口とその属性分析などは担当課として把握しておくべき基礎情報である。</p> <p>→現状では、こういうことすら満足にできていない事業遂行状況なのかと評価せざるを得ない。</p> <p>○国からの補助金が無くなり市からの補助金支出を無くしたあとにまで、効果が継続するような事業となっはじめて、国からの補助金と関わった職員の労力が生きたものとなると自覚されたい。</p> <p>○目標設定が明確でない。(交流人口拡大か定住促進なのか、将来像があいまい)</p> <p>○国の補助金ありきの事業となっており、今後市の税金を投入すべき事業ではない。</p>							
担当課 としての考え	<p>・H27年度から継続してきた事業であるが、H28年度で事業が完了する。</p> <p>・今年度、毛原の将来像をイメージした「ワークショップ」を実施しており、移住者目標(定住 100人/24戸)を設定することにより地元も目標が持てたものと考え。ただし、当面は交流人口を増やすイベント等を実施することで毛原ファンを増やすことを、地元は実施していきたいと考えている。</p> <p>・現在、加工場の改修資金を「クラウドファンディング」において、調達を実施しており、目標である100万円を達成したことから、地元においても、計画達成の展望が少しは見えてきていると考える。</p> <p>・事業としての関わりはなくなるとしてもいろんな側面から支援することは可能であると考えため、出来る範囲でイベント等に参加し、集客人数やリピーター数等の状況を継続的に把握していきたいと考えている。</p>							
全体的な 見直し方針	<p>・現行事業は廃止する。</p>							
見直し方針区分	A 廃止							
具体的 見直し 内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	-				△ 20,264		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000523	部名	農林商工部	課名	農業振興課	
計画事業事業名	6次産業推進事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	6次産業推進事業						(210206)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	農林業費	項	農業費	目	農業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○目指すべき姿や戦略がない。力を入れる分野にメリハリをつけることが大切。</p> <p>○アンテナショップに戦略性がなく、これでは成果が出ない。何の実験のために活用するのか、そもそもから考え直すべき。</p> <p>○6次産業化とは、販売促進やアンテナショップだけではない。製造加工の補助ではなく、商品化やマーケティングが必要。専門家の活用も図るべき。</p> <p>○6次産業化は長期的な取組である。もっと多くの人を巻き込んで実施してほしい。</p> <p>○農業所得の向上とあるが、いつまでに、いくらまで引き上げるかの目標数値が必要。</p>							
担当課 としての考え	<p>・農業関係のマスタープランの策定は今後の課題と考えている。しかしながら、高齢化や後継者不在による経営難により離農が増加傾向にあり、遊休農地増加や施設の荒廃化が懸念されるなか、本市の農業・農村を守ることが本市農政の目指す姿である。</p> <p>・アンテナショップは、福知山産農産物のPRと販路拡大を目的に取り組みを始める中で、首都圏での目的達成のためのニーズ把握も行っている。とれたて村からは売筋等POS单品別データや顧客要望を提供いただいている。ようやく長期的に扱ってもらえる場所を確保したところであるが、板橋での成果と課題を整理し、戦略を組み立てていくこととしている。</p> <p>・全ての事業体が幅広い販路を持っているわけではない。集出荷システムを構築することで市が3次部分を支え、そこにそれぞれの製品を出荷していく仕組みづくりが必要であり、その仕組みづくりや販路開拓には専門家や国・府事業の活用を考えている。</p> <p>・6次産業化は長期的な取り組みである事は認識している。しかしながら、まずは小さな取組みから拡大していくことが必要と考えており、地元農家はもちろん専門家を含み多くの意見を取り込み実施していきたい。</p> <p>・本市の農業・農村を守るためには経営継続に向け農業所得向上が必要であると考えているが、6次産業推進事業では農業法人や団体を中心にした所得向上を、アンテナショップ事業では全農家を対象にしている。</p> <p>・現在担い手農家の所得目標を指標に取組んでおり、全ての農家の所得把握は出来ていない。小規模農家(年金農家や兼業農家)の所得把握は難しいが総農家数の把握は出来ている。本市では小規模農家が農業を継続出来る環境が整備される事で、遊休農地の拡大を防ぎ、更には小規模農家から担い手への転向も見込めるなか、所得ではなく、農家数や耕作面積、担い手の状況を把握することで指標になると考えている。その指標については、今後農業振興計画作成の際に検討する必要があると考えている。※急激な右肩下がりで推移があるなか、それを緩和する事が目標となると思われる。</p>							
全体的な 見直し方針	<p>福知山農産物PR事業における東京都板橋区の大山商店街とのつながりは今後も継続させるが、首都圏・関西圏での事業内容を見直すこととし、新規出店先調査と商談会を行うこととする。</p> <p>また、農業振興計画への位置づけに向けた6次産業推進事業の方針策定の取組みを進めるとともに、有識者の意見を基にして、平成29年度において6次産業推進事業の支援内容の見直しを行う。</p>							
見直し方針区分	D 予算増を伴う事業見直し							
具体的 見直し 内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		
	平成29年度	<p>PRと販路拡大のための東京都板橋区の大山商店街とのつながりは継続首都圏・関西圏での事業内容を見直し、新規出店先調査と商談会を実施農業振興計画(仮称)への位置づけに向けた6次産業推進事業の方針策定有識者の意見を基にして、6次産業推進事業の支援内容の見直し平成29年度は、平成28年度事業を継続するため予算増としている平成29年度において、有識者等による検討会にて6次産業推進事業の方針を策定し、支援内容を見直す予定にしているため、平成30年度予算への影響有り</p>				1,595		

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000527	部名	農林商工部	課名	農業振興課		
計画事業事業名		農産物価格安定対策事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)		農産物価格安定対策事業					(210218)		
予算科目等		会計名	一般会計	款	農林業費	項	農業費	目	農業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見		<p>○府制度の制度であり、市のコントロールはなし。</p> <p>○農家、作付拡大の材料として活用できているかどうかを確認されたい。</p> <p>○返還金の取り扱いは要検討。</p> <p>○目的とする生産振興に、どれだけ結びついているのかを考える必要があるが、現状は、単なる市町村負担分を手当てしているに過ぎない。</p> <p>○本来は農家自身が共済的に行うべきものと考えられるものであり、政策意図(生産振興、地域農業の活性化)と組み合っているか、市としても不断の検証が必要である。</p>							
担当課 としての考え		<p>本制度は市場価格の変動による農家所得の安定を図り、京のブランド野菜の生産拡大に繋げる施策であり、農家が安心して生産出来、生産拡大と農家所得の確保が図られてると考えている。</p> <p>したがって、今後においても本制度の活用を図り、京のブランド野菜の生産量の推移と制度効果を検証するとともに生産農家と栽培面積の拡大に向けて関係機関と連携して実施する。</p>							
全体的な 見直し方針		<p>本事業の検証は行っていく。</p> <p>しかしながら、本事業は府の制度のため、市において見直しはできない。</p>							
見直し方針区分		E 現行通り							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)					【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	-					-		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000537	部名	農林商工部	課名	農業振興課
計画事業事業名	学校給食地産地消推進事業（学校給食地産地消推進事業）						
構成予算事業名 (財務会計コード)	地場産米学校給食活用事業(負担金)						(039609)
	学校給食地産地場野菜導入支援事業(補助金)						(039610)
予算科目等	会計名	一般会計	款	農林業費	項	農業費	目 農業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○給食費に本当にのせられないのか検討されたい。</p> <p>○エコファーマー産野菜にとって、どれぐらいの価値がある事業か精査すべきである。</p> <p>○めざすのは、エコファーマー産品の生産量の増ではないのか。</p> <p>○米の提供を府学校給食会に依存しなくてはいけないのか。JAや経済連からの直接供給を検討し、あわせて、給食センターでの直接炊飯も検討してみるべきである。(コストの見直しは急務)</p> <p>○学校給食にエコファーマー産野菜を入れることが、生産農家の拡大や生産量の増加につながるのかどうか、政策効果とロジックを根本的に検討しなおすべき。同時に、1/2の補助金を見直されたい。</p> <p>○本事業の一番の目的は、地元の学校給食への産品の出荷という選択肢の創出をもって、農業振興を図ることにあるはずである。そのため、事業の成果は、エコファーマーの人数、生産・販売額の増加等によって測られるものである。</p> <p>○農業振興を図る事業であれば、学校給食への導入率を上げることが目的ではなく、最終的には高付加価値の野菜がたくさん市場に出回ることが重要なのではないか。</p>						
担当課 としての考え	<p>地場産米の使用にすることによる差額を給食費に上乗せすることは、副食費との兼ね合いと給食費のUPとなれば親の理解を得ることは困難と考える。したがって、食育を推進する観点で行政支援として実施することが良施策と考える。</p> <p>一方、地産地消を推進する観点で学校給食に地場産野菜の導入は、児童・生徒への食育の推進と農業への理解を進めるため大切な取り組みと考えている。本市の農業施策を進めるため、安全安心な農産物生産は重要な取り組みであり、エコファーマー認定者の拡大を図るとともにエコファーマー農家の農産物生産拡大により、ブランド化を図ることは大切であると考えている。</p> <p>そこで、現在食育の推進観点と市場流通量の確保も必要であるが、全体数量が少ないため、学校給食への導入を優先すれば、市場価格と給食導入価格との価格差が生じるため、現行制度で実施することが、農家の所得確保と食育の推進、さらに地産地消の推進に繋がると判断することから、一定エコファーマー取得者の拡大とエコファーマーの農産物生産量の拡大が見込まれる間、現制度で実施することとしている。</p>						
全体的な 見直し方針	<p>目指す方向性は、本市のエコファーマーが生産する付加価値をつけた農産物の市場流通量が拡大することによるブランド化の確立である。</p> <p>本市においてはエコファーマー取得者がH28年7月末現在で127名(水稻97名、野菜42名品目の重複あり)の状況で、まだまだ少ない現状であり、当面、エコファーマーの農産物生産メリット施策として、地産地消の実施率の向上を図るとともに、学校給食への導入拡大を図るための支援事業を実施中であり、登録農家制による計画的生産をスタートしたところであり、第4次地産地消計画の終了年度まで現制度を継続し、H31年度にエコファーマーの取得状況及び農産物の生産状況を勘案して、制度を見直すこととする。</p>						
見直し方針区分	E 現行通り						
具体的 見直し 内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	
	平成29年度	平成28年度から30年度の3ヶ年間で第4次地産地消計画としており、計画期間にエコファーマーの増大とエコファーマーの安心安全な野菜を学校給食への導入拡大を図ることとしている。				0	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000924	部名	農林商工部	課名	農業振興課		
計画事業事業名		農地中間管理事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)		農地中間管理事業					(820257)		
予算科目等		会計名	一般会計	款	農林業費	項	農業費	目	農業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見		<p>○上位計画に基づく集積率目標の他、認定農業者の数、新規農業者数、法人経営数などを示し、達成度を検証していただきたい。</p> <p>○全国平均よりかなり低いことから、市の計画どおりに進んでいたとしても、元の計画そのものを検証する必要がある。</p> <p>○福知山市の農業をどうしたいのかを考えて事業の必要性を検証すべき。</p>							
担当課 としての考え		<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度に国の重点施策として打ち出され、国の目標を受けて府の目標がある中で、府の目標達成に向けて事業を実施する必要がある。 ・平坦地に比べ、傾斜地や条件不利地では事業を進めにくいと、中山間地を多く抱える本市においては、国や府の目標を画一的に配分した目標とすることはできない。 ・地域の現状を考慮し、可能な範囲でできるだけ多くの利用集積を図る目標を設定し、事業を実施している。 ・事業の進捗により、認定農業者、新規就農者、組織の法人化などに対する効果の検証について研究する。 							
全体的な 見直し方針		<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業は現行通り実施する。 ・国や府の目標に対する市としての目標を整理する。 ・市の農業振興施策全体の目標に対する当事業の位置づけを整理する。 							
見直し方針区分		E 現行通り							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)					【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	・現行どおりの事業継続					0		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000161	部名	農林商工部	課名	林業振興課	
計画事業事業名	森林適正整備推進事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	森林適正整備推進事業						(210133)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	農林業費	項	林業費	目	林業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>府の制度に乗ったもの。市にとっての必要性はないのではないかと。 ○防災的にも、森林整備的にも、間伐材利用的にも、何にも生かされない。 ○技術承継の必要性がどこまであるか。 ○必要面積の算定が適正に行われているか。受益がどこに生じるかがまったく不明である。 ○優良材の産出には結びついていないのではないかと。 ○森林組合に対する支援を行うための方便にしかならず、間伐の成果はどこにも現れていないように見える。 → このまま継続することに何の意味があるのか、一から考え直すべきである。 ○何のために間伐しているのか目的を明確にする必要がある。(優良材目的なのか、防災対策か、森林整備の面で価値がある事業なのか)</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業は、森林の持つ多面的・公益的機能を発揮させるために行っているものである。 ・本市森林整備計画で定めたとおり長伐期施業へと移行する中で、「奥地条件不利地等における間伐実施を行うことで、健全な森林育成の推進を図り、森林の公益的機能の維持増進を図る」ことを目的としている。 ・間伐が必要な森林を多く抱えている本市としては、有効な財源を確保しながら森林整備を行っているものである。 							
全体的な 見直し方針	<p>何のために間伐しているのか目的を明確にする必要があるということで、長伐期施業へと移行する中で「奥地条件不利地等における間伐実施を行うことで、健全な森林育成の推進を図り、森林の公益的機能の維持増進を図る」ことを目的として行って行きたい。</p>							
見直し方針区分	B 予算削減を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的を明確にして、事業を継続して実施する。 ・事業量について検討し、予算削減を図る。 				△ 843	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000165	部名	農林商工部	課名	林業振興課	
計画事業事業名	森林組合間伐補助事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	森林組合間伐補助事業						(210170)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	農林業費	項	林業費	目	林業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ○良好な森林環境の保全は重要。ただし、これは森林組合の本来業務である。 ○施業地の選定や経営努力はあまり見られない。 ○本来は、森林組合が自ら主体的に行うものであるという理解が、市・組合ともにあるか疑問である。 →府の補助があるからやっているだけに見えてしまう。 ○中期的な計画のもと、施業地や搬出木材料をコントロールするという経営的努力が不可欠である。 →やれるところからやる、という形になっているのではないか？ ⇒搬出木材の売却収益に対して自己負担が適正な水準となっているかどうか、抜本的な見直しが必要である。 ○府と市から補助をもらい、自己負担の少ない中で間伐材の販売収入を得ているというのはいかがなものか。 							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な森林環境の保全は森林組合の本来業務であるが、行政の責務でもある。 ・京都府、福知山市、森林組合、地元で適正な森林の管理に向けた新たな展開に向けた調整を予定している。 ・森林の持つ他面的な機能発揮のため国や府の支援策があり、森林整備が促進されることで木の有効活用も図れることから本市としても森林所有者の負担軽減を図り森林整備を促進することから支援しているものである。 ・現行の補助率等は、森林所有者の負担軽減を図り森林整備を促進するために定めているもので、トータル補助率は約93%としている。これは、実経費から国・府・市補助金や間伐材売払い収入を差し引き算定しているものである。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度から府・市・地元等で今後の進め方などを調整し始めたところで、その方向性により具体的な見直し方針を決定する。 ・今後、府・市・関係者などで検討会を行うなどして目指すべき方向性などについて検討して行きたい。 							
見直し方針区分	B 予算削減を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施等について京都府や森林組合連合会等と連携を図り、育成指導を行う。 ・府・市・関係者などで検討会を行い、目指すべき方向性について検討する。 ・事業量などの一部見直し等により事業費を削減する。 				△ 1,147	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000172	部名	農林商工部	課名	林業振興課	
計画事業事業名	地元産木材利用促進事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	丹州材活用促進事業						(210188)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	農林業費	項	林業費	目	林業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ○一定の促進策は考慮すべきものである。 ○件数、利用量は適切に把握できているが、いかにせん使用が少ない。 ○どれだけ地元産材の利用促進になっているのか疑問である。 ○必要最小限の補助だが、呼び水効果はなさそうである。 ○この制度が有効に機能しているのかどうか、徹底的に検証すべき。 ⇒利用が進まないのは、手続きの問題か、補助金額の問題か、率の問題かを明らかに。 ○このまま補助の活用が減少・停滞するのならば、存続も含めて検討すべき。 ○利用率が低いことの理由の分析が必要である。(補助率が妥当な金額であるのか、広報は充分になされているのか、丹州材を活用した建設自体が一定量あるのか等) 							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・利用可能な木材に育ってきた森林整備の推進のためには有効かつ必要な事業であるが、指摘どおり利用量が少ないことから、数社の緑の工務店等に聞き取り調査を行った結果、事業のPR不足が判明したため制度の周知を図る。 ・さらに、事業効果が有効に発揮できるよう平成29年度も調査を行い、平成30年度予算から反映できるよう進める。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・H29は事業のPRのためチラシ等を作成し、市民や事業者へPRする。 ・また、平成29年度にかけて各事業者へヒアリングを行い、その結果により見直し内容を検討する。 							
見直し方針区分	B 予算削減を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・数社に聞き取った結果、広報・PR不足との意見が多かったため、チラシ等を作成し広報に努める。 ・今後も丹州材を利用していない業者等への聞き取りを継続して実施する。 				△ 58	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000711	部名	農林商工部	課名	商工振興課	
計画事業事業名	販路開拓支援事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	販路開拓支援事業(地方創生先行型)						(310134)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業のニーズは一定ありそうだが、利用件数は少ない。 ○商談件数、成約件数の把握は必要である。 ○具体的にどれだけの販路開拓(商談 + 成約 + 継続的な契約)につながっているのか、把握した上で事業のあり方を見直すべきである。(現状は不明) ○単なるイベント出店補助にとどまるものならば、必要性や補助水準をそもそも疑うべきものである。 ○事業の成果は成約件数か、せめて商談件数として測りたい。 ○展示会出展後のフォローも行っていくべきである。(特に海外への出展など) ○不用額が生じた場合は、その理由の分析が必要である。(周知方法、展示会とのマッチング等) 							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・事業成果を把握するため、具体的な効果(商談件数、成約件数、継続的な契約件数)の把握に努める必要があると考える。 ・展示会出展後の補助だけにとどまらず、その後に販路拡大に向けた有益情報の発信等のフォローの必要があると考える。 ・不用額が生じた場合、今までの周知方法についての効率性・有効性を分析する必要があると考える。(H28予算は不用額が出ない見込み) 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・制度利用者に対し、追跡調査を実施し具体的な効果(商談件数、成約件数、継続的な契約件数)の把握に努め、結果を踏まえて事業成果の設定を見直し、分析を行う。 ・単なるイベント出展補助にとどまらず、その後のフォローも積極的に行う。 							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者追跡調査を実施し、具体的な成果把握に努め結果によっては見直しを検討する ・利用者に対し、補助金交付後も有益情報の発信や、海外展開の相談窓口の情報提供等のフォローを行う。 				-		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000713	部名	農林商工部	課名	商工振興課	
計画事業事業名	中小企業サポートセンター事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	中小企業サポートセンター事業						(310112)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○設置目的、事業内容が不明瞭。</p> <p>○相互の組織(市、中小企業サポートセンター、福知山市中小企業等支援機関連絡会議、パワーオンネット)が複雑にからんでおり、各事業の独立性と資金の流れが不明確である。</p> <p>○市がやるべきことと、そうでないことを明確に分ける必要がある。</p> <p>○連絡会議に緊急的措置として負担金を拠出し、実態上は市の直接事業と一体運営するのは会計上好ましくない。</p> <p>○パワーオンネットの会員に対し、受益者として会費の徴収を検討すべき。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・福知山市中小企業サポートセンターに代えて、福知山市産業支援センター(仮称)を設立し、市内事業者の支援を強化する。 ・従って、福知山市中小企業等支援機関連絡会議は解散する。 ・広域による産学官連携等による事業者支援(パワーオンネット、パワフルマップ等)は、市の事業として継続する。 ・全国で行っている同様の支援において受益者負担を求めているところはなく、本市も求めることはしない。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業は廃止する。 ・改善意見を踏まえて見直しを行い、既存の支援機関ができていない農業・観光も含めた産業支援を行うために無料相談業務をメインにした福知山市産業支援センター(仮称)を設立する。 ・パワーオンネット等産学官連携及び広域連携事業は市の直接事業として区分けして行う。 							
見直し方針区分	A 廃止							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度					0	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000722	部名	農林商工部	課名	商工振興課	
計画事業事業名	起業おうえん事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	起業おうえん事業(地方創生先行型)						(320225)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○ニーズはあるだろうが、どこまで市が支援すべきかは別問題である。</p> <p>○起業のインセンティブにどれだけつながっているのか、安定的な経営初動にどれだけ有効なのか。成果評価を厳格に見るべきである。</p> <p>○件数は5件でも、上限に満たない状況であり、上限額と補助率が適正水準か疑問である。</p> <p>○相談会、セミナーは、そもそも中小企業サポートセンターで行うべきものであり、市で実施するものではないはず。</p> <p>○どれだけ起業につながり、持続できているのか効果を厳格に検証すべきである。</p> <p>○国の補助により実施したハード事業は後日検査が入る可能性もあるため、シールを貼るなど明示させたほうがいいのではないかと確認をされたい。</p> <p>○現在申請順での受付となっているが、申請者が増えるようであれば、募集期間内での申請者の中から選別を行うシステム作りも必要になってくるのではないかと。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・成果評価のため、本制度が市内起業につながっているかなどを把握する必要があると考える。 ・補助金制度の上限について、これまでの実績や他市の状況を踏まえて改善する必要があると考える。 ・国の補助により実施したハード事業(備品)に貼るシールを作成する必要があると考える。 ・補助金受付について、今後申請者が増えれば、募集期間を設ける必要もあると考える。 ・本事業内のセミナー・スクールは国から認定を受けている「福知山市創業支援事業計画」に基づき実施している。平成27年度から平成29年度の3年計画となっており、計画期間内のセミナー・スクールの実施は必要であると考え。また、セミナー等の実施主体は今後設立予定の産業支援センターの方向性も踏まえて検討する。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・制度利用者に対し、追跡調査を実施し成果把握に努める。 ・補助金制度の上限について、これまでの実績を踏まえ、ソフト事業については、上限を見直す。 ・セミナー等開催の実施主体について、今後産業支援センター設立の具体化とともに検討を図る。 ・補助金受付については、今後の申請状況により変更も検討する ・国の補助により実施したハード事業(備品)については、補助事業の確認のためシールを作成し貼る。 							
見直し方針区分	B 予算削減を伴う事業見直し							
具体的 見直し 内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家支援事業補助金のソフト事業上限を過去交付実績や近隣市町の支援内容を参考に見直す。 ・制度利用者に対し、追跡調査を実施し成果把握に努める。 ・国の補助により実施したハード事業(備品)については、検査時に確認ができるようにシールを作成し貼る。 				△ 100	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000734	部名	農林商工部	課名	商工振興課	
計画事業事業名	中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク事業						(310211)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○空き家活用は重要施策だが、まちづくり会社にこの委託内容で適切とみなせるかどうかは疑問である。</p> <p>○中心市街地の空き家、空き店舗がどういう状況か把握できておらず、現状の取組が有効かどうか評価できない。</p> <p>○当初予算に対する執行残が大きく、効率的に実施できているとは言い難い。</p> <p>○ちよつとずつ登録や成約が増えているが、それが空き物件全体の中でどのようなインパクトのあるものか、十分な把握や分析ができておらず、このままでは、やっているだけとしか言えないのではないか。</p> <p>○各種補助も、利活用促進にどれだけ役立っているのか、利用者にとって使い勝手のよいものとなっているのか、これまでの執行状況からすると課題があると思われるため、実態を把握して抜本的に見直されたい。</p> <p>○空き家、空き店舗の実情を捉えて、家ないし店舗が空くペースと埋まるペース感をあわせる必要がある。これらを把握することが、補助の妥当性の判断基準になる。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・委託内容についてより成果があがるよう検討が必要と考える。 ・中心市街地の空き家、空き店舗の状況をより詳細に把握する必要があると考える。 ・家・店舗が空き家になる量と、空き家が利活用される量を実数で把握し、空き家・空き店舗の家主・借主双方のニーズを把握する必要があると考える。 ・各種補助について使い勝手の良いものであるか、実態等を把握する必要があると考える。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の空き家、空き店舗の状況を把握をするためのより詳しい調査(聞き取りや目視など)を実施する。 ・当初予算に対する執行残について、効率的に実施できるよう見直しを行う。 ・各種補助について使い勝手の良いものであるか、補助内容の再検討を行う。 ・中活エリアの空き店舗チャレンジ、ストックバンク、テナントミックスの空き家・空き店舗事業を一つに統合する。 							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の空き家、空き店舗の状況を把握するため調査(聞き取りや目視など)を実施する ・各種補助について使い勝手の良いものにするため、補助内容を再検討する 				0		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000735	部名	農林商工部	課名	商工振興課	
計画事業事業名	空き店舗活用チャレンジ事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	空き店舗活用チャレンジ事業						(310207)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○「000734 中心市街地空き地・空き店舗等ストックバンク事業」と一緒に同様の検証が必要である。</p> <p>○委託金の350万円は妥当なものであるか疑問がある。</p>							
担当課 としての考え	<p>・各種補助について使い勝手の良いものであるか、実態等を把握する必要があると考える。</p>							
全体的な 見直し方針	<p>・各種補助について補助内容の見直しを行う。</p>							
見直し方針区分	B 予算削減を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	<p>・空き店舗活用チャレンジ補助事業の補助内容見直し(事業費減額△400千円)</p>				△ 400		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000736	部名	農林商工部	課名	商工振興課	
計画事業事業名	丹波福知山まちかどラボ運営事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	丹波福知山まちかどラボ運営事業						(310205)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○他の貸館施設等との違いや特徴を打ち出せているかどうか疑問である。</p> <p>○他事業との抱き合わせで人件費を見ている(事実上の受付業務)ことは、適正といえるかどうか検証されたい。</p> <p>○単なる貸館になっは、「まちかどラボ」とは言えないのではないか。</p> <p>→現在の運用で、どのような価値を創出できているのか(他の貸館との違いを含め)説明が必要である。</p> <p>→今のままでは不十分と言わざるを得ない。</p> <p>○まちづくり会社が運営主体として適切かどうか再検討すべきである。</p> <p>○まちなかの賑わい創出が目的となるはずだが、どの程度を目指しているのかはっきりしない。利用人数3,000人/年を目標としているが、その目標で十分なのか。そして、そこにも大きく届いていない現状をどう考えているのか。よく検討されたい。</p> <p>○人々の交流の結節点となるよう補助金を出している原課がチェックしなくてははいけない。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の運用でラボとしての価値を創出できているか(他の貸館との違いを含め)の検討が必要。 ・受付業務等の事務の見直しが必要と考える。 ・中心市街地に設置しており、まちづくり会社が運営主体として妥当と考える。 ・利用人数3,000人/年という目標が妥当なのか検討が必要と考える。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民にとって立ち寄りやすい情報が集まる身近な拠点施設として活用されるよう改善する。 ・受付業務等、事務の見直しを行うとともに、施設の閉館も含め再検討する。 							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民にとって立ち寄りやすい情報が集まる身近な拠点施設として活用されるよう改善を検討 ・受付業務等、事務改善 ・29年度中に次年度以降継続するか廃止かを検討 				0		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000737	部名	農林商工部	課名	商工振興課	
計画事業事業名	まちづくり会社活動支援事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	まちづくり会社活動支援事業						(310219)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○タウンマネージャーはどれだけ必要かを示す必要がある。</p> <p>○まちづくり会社の必要性と本事業の必要性は別物であると認識されたい。</p> <p>○本事業で行っているのは、タウンマネージャーと事務職の人件費補助であり、これによって、どのような成果が生み出されているのか(例えば、収益を押し上げているとか、利益増となっているとか)の検証が不可欠である。現状では不明であり、補助の必要性が説明できていない。</p> <p>○ゆらのガーデンに係るタウンマネージャーが担う業務は、まちづくり会社の本来業務そのものであり、その「業」に対して「補助」することはおかしい。</p> <p>○運営にタウンマネージャーが必要なのであれば、補助ではなく委託で支出すべきではないか。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会社活動支援事業に対するタウンマネージャーへの補助内容について検討する必要がある。 ・本事業で行っている人件費補助にかかる成果の検証が必要と考える。 ・ゆらのガーデンに係るタウンマネージャーが関わる業務についての補助を見直す必要があると考える。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆらのガーデンに係るタウンマネージャーが担う業務について見直しを行う。 ・人件費補助にかかる成果について検証し、必要であれば見直しを行う。 ・タウンマネージャーを市の委託業務として実施する。 ・委託にあたり業務内容を精査する。 							
見直し方針区分	B 予算削減を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンマネージャーへの補助金を[000740]中心市街地活性化基本計画推進事業へ統合し、市の委託とする。 ・委託内容等精査 				△ 4,035		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000740	部名	農林商工部	課名	商工振興課	
計画事業事業名	中心市街地活性化基本計画推進事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	中心市街地活性化基本計画推進事業						(310212)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ○中心市街地の活性化は必要であるが、中身の精査は別の問題である。 ○活動とめざす姿や数値目標とがしっかり結びついているかどうかは疑問がある。 ○ゆらのガーデンの管理形態は将来的な課題である。 ○活動は展開できていると思われるが、それがどれだけ実績として成果に結びついているのか、目標管理と、それに伴う実施事業の見直し、再構築がどれだけできているのかが問題である。 ○まちのにぎわいを創出するために、実施主体が今のまちづくり会社で十分かどうか、常に検証が必要である。 ○事務事業評価シートの実施方法は業務委託の区分にすること。 							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・活動とめざす姿や数値目標との結びつきを検証する必要があると考える。 ・活動がどれだけ成果に結びついているのか、検討する必要があると考える。 ・実施主体は中活の推進役であるまちづくり会社以外では考えられない。 ・事務事業評価シートの実施方法の区分については訂正することが必要。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・活動とめざす姿・数値目標について検証を実施する。 ・活動を成果に結びつけるための目標管理と、それに伴う実施事業の見直しを行う。 ・事務事業評価シートの実施方法の区分は業務委託とする。 							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・活動とめざす姿や数値目標との結びつきについて検証を実施 ・実施事業の見直しを検討 ・中心市街地活性化に係る事業、タウンマネージャー委託費、中心市街地活性化協議会運営事業、丹波福知山まちかどラボ運営事業の統合 				0	/	